



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社サンエー化研  
コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 明広

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高部 丈昌

TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,203	3.4	35	91.2	172	62.0	122	60.0
2022年3月期第1四半期	7,460		398	117.2	452	96.9	305	89.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 165百万円 (7.6%) 2022年3月期第1四半期 179百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.13	
2022年3月期第1四半期	27.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	36,557	20,967	54.7	1,823.37
2022年3月期	35,946	20,928	55.6	1,819.56

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 20,010百万円 2022年3月期 19,969百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		9.00		11.50	20.50
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		11.50		9.00	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 80周年の節目となる2022年度中に年間5円の記念配当(2022年3月期期末配当2.5円、2023年3月期中間配当2.5円)を実施する方針とし、当該金額を上表の配当金額に含めております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	2.9	455	38.7	600	38.4	420	72.3	38.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	11,320,000 株	2022年3月期	11,320,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	345,345 株	2022年3月期	345,345 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	10,974,655 株	2022年3月期1Q	10,974,655 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や、まん延防止等重点措置の終了を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられました。一方、原油高に伴うエネルギー価格の上昇や輸入食糧価格の上昇に伴う食品価格の値上げ、更に円安の影響も加わり物価は上昇しており、今後の先行きは不透明な状況となっております。

そのような状況下、当社グループにおきましては、中国・上海でのロックダウンによるサプライチェーンの停滞・混乱から過剰在庫となった液晶パネルの生産調整が機能性材料セグメントの受注を減少させ減収となりました。損益面では、原油価格の高止まりが原材料価格や電力燃料費を高騰させ、コストを大幅に増加させており、その対策として販売価格への転嫁や生産合理化を進めておりますが、全てを補うことはできず、営業利益は減益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高72億3百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益35百万円（前年同期比91.2%減）、経常利益1億72百万円（前年同期比62.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億22百万円（前年同期比60.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	2,990百万円	41.5%	2.7%増
産業資材	2,433百万円	33.8%	4.1%増
機能性材料	1,699百万円	23.6%	21.0%減
その他	80百万円	1.1%	30.8%増
合計	7,203百万円	100.0%	3.4%減

## (軽包装材料)

食品用包材は、電子レンジ対応食品包材「レンジD o!」が従来品からの切り替え需要により引き続き好調を維持しております。

医薬品・医療用包材は、世界的に医療機関の診療体制が正常化に向かう中で検査用品用途の受注が回復傾向にありましたが、その他の医薬品・医療用包材の受注は低調に推移しました。

日用品等の包材は、化粧品関連の受注が好調に推移したほか、その他の一般包材の受注が回復し増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は29億90百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

## (産業資材)

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、防災用品としての養生用テープの需要が引き続き好調であったことや、一部のテープメーカーの製品統廃合等による需給の変化から受注が増加しました。また、海外製粘着テープの輸入価格が原料高や円安の影響を受けて値上がりしていることから、国内品の需要が高まっており、受注は好調に推移しております。

剥離紙については、半導体不足や中国・上海でのロックダウンの影響等による自動車メーカー各社の減産の影響が続いており、自動車関連部材用途は低調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24億33百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

## (機能性材料)

テレワークやオンライン授業の普及によって出荷台数を伸ばしていたノートパソコンやタブレット端末は、需要の一巡により減少に転じました。液晶テレビもウクライナ危機の長期化等による消費マインドの悪化を背景に需要が減少しております。そこに中国・上海でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱が加わり、液晶パネルが過剰在庫となったことから、一部のパネルメーカーは生産調整を行っており、当社光学用表面保護フィルムの受注は減少いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億99百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

総資産は前連結会計年度末と比べて6億11百万円増加いたしました。これは主に電子記録債権が3億93百万円増加、商品及び製品が2億3百万円増加および原材料及び貯蔵品が1億94百万円増加等の増加要因によるものであります。

（負債）

負債は前連結会計年度末と比べて5億72百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2億62百万円増加、電子記録債務が1億97百万円増加および流動負債その他に含まれる預り金が1億52百万円増加等の増加要因によるものであります。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて38百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が42百万円増加等の増加要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月16日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,296,308	7,063,656
受取手形	1,161,681	1,165,359
売掛金	6,260,555	6,185,071
電子記録債権	3,249,754	3,642,947
商品及び製品	1,528,704	1,732,661
仕掛品	1,675,505	1,814,842
原材料及び貯蔵品	1,065,229	1,259,243
その他	359,576	356,638
貸倒引当金	△26,899	△28,150
流動資産合計	22,570,416	23,192,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,081,345	3,031,242
機械装置及び運搬具（純額）	1,271,395	1,221,244
土地	2,552,598	2,552,598
その他（純額）	155,076	171,031
有形固定資産合計	7,060,416	6,976,117
無形固定資産	47,223	43,585
投資その他の資産		
投資有価証券	4,462,335	4,527,972
退職給付に係る資産	1,217,497	1,219,210
その他	588,737	598,667
投資その他の資産合計	6,268,571	6,345,850
固定資産合計	13,376,211	13,365,553
資産合計	35,946,627	36,557,823

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,284,047	3,546,149
電子記録債務	3,735,510	3,933,178
短期借入金	3,530,000	3,570,000
未払法人税等	16,662	95
契約負債	500	4,908
賞与引当金	454,486	243,284
役員賞与引当金	7,391	552
その他	1,057,259	1,385,980
流動負債合計	12,085,856	12,684,149
固定負債		
長期借入金	1,364,672	1,251,928
役員退職慰労引当金	86,086	96,305
退職給付に係る負債	822,128	831,293
資産除去債務	131,897	132,018
その他	527,263	594,928
固定負債合計	2,932,048	2,906,473
負債合計	15,017,905	15,590,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,238,875	2,238,875
利益剰余金	14,008,894	14,004,930
自己株式	△116,042	△116,042
株主資本合計	18,307,728	18,303,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,510,074	1,552,473
為替換算調整勘定	△5,084	2,706
退職給付に係る調整累計額	156,401	151,945
その他の包括利益累計額合計	1,661,392	1,707,124
非支配株主持分	959,601	956,312
純資産合計	20,928,722	20,967,201
負債純資産合計	35,946,627	36,557,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,460,467	7,203,324
売上原価	6,242,285	6,389,194
売上総利益	1,218,182	814,129
販売費及び一般管理費	819,351	779,124
営業利益	398,830	35,004
営業外収益		
受取利息	1,600	23
受取配当金	47,300	53,532
作業くず売却益	4,506	7,038
クリーム収入	—	6,069
為替差益	2,012	68,937
その他	7,927	10,070
営業外収益合計	63,347	145,672
営業外費用		
支払利息	7,188	7,106
その他	2,129	1,448
営業外費用合計	9,317	8,554
経常利益	452,860	172,122
税金等調整前四半期純利益	452,860	172,122
法人税、住民税及び事業税	6,770	3,473
法人税等調整額	131,809	48,318
法人税等合計	138,579	51,792
四半期純利益	314,280	120,330
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8,480	△1,914
親会社株主に帰属する四半期純利益	305,799	122,244

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	314,280	120,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139,418	42,003
為替換算調整勘定	6,970	7,790
退職給付に係る調整額	△2,553	△4,456
その他の包括利益合計	△135,001	45,337
四半期包括利益	179,279	165,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,995	167,976
非支配株主に係る四半期包括利益	5,283	△2,308

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	2,910,905	2,336,927	2,151,195	7,399,028	61,438	7,460,467
セグメント利益	165,030	27,206	205,695	397,931	899	398,830

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	2,990,269	2,433,060	1,699,650	7,122,979	80,344	7,203,324
セグメント利益又は損失(△)	62,058	△74,726	41,996	29,328	5,676	35,004

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。